

87 番の歌 爽やかになれる場所

上手にアドバイスするには？

「私は.....あなたに目を留めて助言を与える」。詩編 32:8

ポイント：どうしたら上手にアドバイスできますか。

1. 誰がアドバイスをするべきですか。どうしてですか。

あなたは誰かにアドバイスすることについてどう感じますか。わりと抵抗なくアドバイスできるという人もいれば、あまり気乗りしないという人もいます。いずれにしても、私たちはみんな誰かにアドバイスしなければいけない時があります。どうしてでしょうか。イエスは愛し合うことが本当のクリスチヤンの特徴だと言いました。（ヨハ 13:35 あなたたちの間に愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります）兄弟姉妹を心から愛しているなら、必要な時ためらわずにアドバイスを与えます。聖書も「誠実な助言を与えてくれる友」は大切な存在だと言っています。（格 27:9 油と香は心を喜ばせる。誠実な助言を与えてくれる友もそうである）

2. 長老たちは何をしなければいけませんか。どうしてですか。（「週日の集会でのアドバイス」の囲みも参照。）

特に長老たちは上手にアドバイスしなければいけません。エホバとイエスから会衆の兄弟姉妹を世話する責任を与えられているからです。（ペテー 5:2, 3 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り), 不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3 神の財産である(*神から委ねられた)人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう。）それで長老たちは集会で話をする時、聖書に基づくアドバイスを与えます。また、一人一人の兄弟姉妹にも、エホバから離れてしまっている人たちにもアドバイスします。長老たち、そして私たちみんなは、どうすれば良いアドバイスができるでしょうか。



週日の集会でのアドバイス

週日の集会で司会者は、話や実演を担当した生徒に役立つアドバイスをします。司会者は生徒が指定された課やポイントにどのようによく取り組んでいるかに注目します。

話や実演の後、司会者は良かったところを褒めます。でも、指定された課やポイントの内容をどうすればもっと生かせるか、温かく具体的に伝えるとよい場合もあります。そういうアドバイスは、担当した生徒だけでなく、会衆のみんなのためになります。（[格 27:17 鉄が鉄を研ぐように、人は友を研ぐ。）](#)

3. (ア) どうすれば上手にアドバイスできるようになりますか。（[イザヤ 9:6](#) 「アドバイスするときにイエスに倣う」の囲みも参照。）（イ）この記事ではどんなことを考えますか。

3 聖書に出てくる人たち、特にイエスから、上手にアドバイスをする秘訣を学べます。イエスは「素晴らしい助言者」と呼ばれています。（[イザヤ 9:6](#) 私たちのために子が生まれた。私たちに男子が与えられた。彼は肩に統治の責任を負い、素晴らしい助言者、力強い神、永遠の父、平和の統治者と(*という名で)呼ばれる。を読む。）この記事では、①アドバイスを求められたときにどうすればいいか、また、②求められていなくてもアドバイスしなければいけないときにどうしたらいいかを考えます。③良いタイミングで、相手にとって受け入れやすい仕方でアドバイスをすることの大切さも学べます。

アドバイスするときにイエスに倣う

イエスが「素晴らしい助言者」といえるのはどうしてでしょうか。私たちはどのように見習えるでしょうか。

- どんなことを言うといいか知っていた。イエスは自分の思うままに話すのではなく、いつも、エホバだったら何と言うかを考えてアドバイスしました。それで弟子たちにこう言いました。「あなたたちに言うことは、独自の考え方で言っているではありません」。（[ヨハ 14:10](#) 私と父が結び付いていることを信じていないのですか。あなたたちに言うことは、独自の考え方で言っているではありません。私とずっと結び付いている父が私を通して行動しているのです。）

学べること: 自分の経験や考えに基づいてアドバイスしたくなることもあるものです。でもいつも、自分のアドバイスが聖書に基づいているかどうかをよく考えるようしましょう。

- いつ言うといいか知っていた。イエスは弟子たちに言いたいことがたくさんありましたが、一度に全部伝えたりはしませんでした。弟子たちが理解できるよう、タイミングを見計らって少しずつ伝えました。（[ヨハ 16:12](#) あなたたちに言うべきことがまだたくさんありますが、あなたたちは今はそれを理解できません(*に耐えられません)。）

学べること: アドバイスするとしても、「話すのに時があ[り]」ます。（[伝 3:7](#) 裂くのに時があり、縫うのに時がある。黙っているのに時があり、話すのに時がある。）一度にたくさんのこと

を教えても、相手は理解できないかもしれませんし、やる気をなくしてしまうかもしれません。それで、その人にとって今一番必要なことだけを伝えるようにしましょう。

- どんなふうに言うといいか知っていた。イエスは弟子たちに、謙虚になるよう何度もアドバイスしなければいけませんでした。それでも、いつも敬意を込めて穏やかに話しました。（マタ 18:1-5 その時、弟子たちがイエスの近くに来て、「天の王国ではいったい誰が一番偉いのですか」と言った。2イエスは、幼い子供を呼んで弟子たちの真ん中に立たせ、3こう言った。「はっきり言いますが、心を入れ替えて(*変化して)幼い子供のようにならなければ、決して天の王国に入れません。4ですから、この幼い子供のように謙遜になる人が、天の王国で一番偉いのです。5そして、私の名のためにこのような幼い子供1人を受け入れる人は、私をも受け入れます。）

学べること：何度も同じアドバイスをしなければいけないときも、敬意を込めて穏やかに話せば、相手の心を動かせるかもしれません。

アドバイスを求められたとき

4-5. アドバイスを求められたとき、どんなことを考えるとよいですか。例を挙げてください。

4 アドバイスを求められるとうれしくなって、すぐに何か言いたくなるかもしれません。でもまずこう考えてみてください。「自分は本当にこの分野でアドバイスできるだろうか」。その分野に詳しい人に相談するよう勧める方がよい場合もあります。

5 例えば、とても仲の良い友達が重い病気にかかったとします。その友達はいろんな治療法について調べ、どれがいいと思うか、あなたに意見を尋ねます。あなたは治療法について強い意見を持っているかもしれません。でも、あなたは医療の専門家ではありませんし、その分野の教育を受けたわけでもありません。そういう時はきちんと専門家にアドバイスを求めるよう勧めるのがベストです。

6. アドバイスをする前に時間を持って考えるとよいのはどうしてですか。

6 この分野なら自分にはアドバイスができると感じる時も、まず時間を取って、何を言うか考えるのは大切です。格言 15 章 28 節 正しい人は答える前に心の中で思い巡らし(*どう答えるかをよく考え/話す前に考え)、悪人たちは悪いことを口走る。には「正しい人は答える前に……思い巡ら[す]」とあります。それでアドバイスする前に調べ、祈り、じっくり考えるようになります。そうすればエホバの考えに沿ったアドバイスができます。預言者ナタンのことを考えてみましょう。

7. 預言者ナタンの例からどんなことを学べますか。

7 ダビデ王がエホバのために神殿を建てたいと言った時、預言者ナタンはぜひそうするようにとすぐに勧めました。でも、ナタンはまずエホバに尋ねるべきでした。エホバはダビデが神殿を建

てることを望んではいなかったからです。 (代一 17:1-4 ダビデは自分の家(*宮殿)に住むとすぐ、預言者ナタンに言った。「私は杉の家に住んでいるのに、エホバの契約の箱は天幕の下にあります」。 2 ナタンはダビデに言った。「何でも心にあることを行ひなさい。真の神があなたと共にいます」。 3 その夜、神はナタンに言った。 4 「私に仕えるダビデにこう言いに行きなさい。『エホバはこう言っている。『私が住む家を建てるのはあなたではない。』) この例から、アドバイスを求められたとき「すぐに話したり……しては」いけない、ということを学べます。 (ヤコ 1:19 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません。)

8. よく考えてからアドバイスするべきなのはどうしてですか。

8 アドバイスする前に考えるのが大切な別の理由もあります。自分が良くないアドバイスをしたせいで相手がつらい目に遭うなら、アドバイスした側にも責任があるといえます。よく考えてから慎重にアドバイスすることは本当に大切です。

求められていなくてもアドバイスするとき

9. アドバイスする前に長老は何を確かめるべきですか。 (ガラテア 6:1)

9 長老たちは「道を踏み外した」兄弟姉妹にアドバイスしなければいけないことがあります。 (ガラテア 6:1) 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチヤンとして十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんには、その人を優しく(*温かな精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください。を読む。) スタディー版聖書の注釈によると、道を踏み外す人とは「重大な罪をまだ犯していないとしても、間違った方向に進んでいる」人のことです。長老たちが目指すのは、その人が永遠の命につながる道を歩き続けられるよう助けることです。 (ヤコ 5:19, 20 私の兄弟たち、皆さんの中の誰かが惑わされて真理から離れたものの、別の人助けられて戻るとします。 20 誤った道から戻るよう罪人を助ける人は、その罪人を死から救い、多くの罪を覆う(*が許されるよう助ける)ことになります。そのことを覚えておいてください。) でもアドバイスする前に、長老はその人が本当に道を踏み外しているかどうかを確かめなければいけません。自分の良心に従って決めてよいこともあるからです。 (ロマ 14:1-4 信仰に弱いところがある人を迎え入れてください。異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません。 2 ある人は何でも食べてよいという信仰を持っていますが、弱い人は野菜しか食べません。 3 食べる人は食べない人を見下してはならず、食べない人は食べる人を批判してはなりません。神がその人を迎えたのです。 4 他人の召し使いを批判するとは、あなたは何者なのですか。その人が立つのも倒れるのも、その人と主人との間のことなのです。実際、その人は立つようにされます。エホバはその人を立たせることができるからです。) では、ある人が本当に道を踏み外していて、長老が助言しなければいけないときはどうでしょうか。

10-12. 求められていらないにアドバイスするとき、長老たちはどんなことをしなければいけませんか。 例えで説明してください。
(写真と挿絵も参照。)

10 長老たちにとって、求められていないのにアドバイスを与えるのは決して簡単なことではありません。どうしてでしょうか。パウロが言っているように、道を踏み外した人は自分ではそのことに気付いていない場合があるからです。では、そういう相手にも受け入れやすい助言をするために、長老たちはまずどんなことをすべきでしょうか。

11 求められていないのにアドバイスを与えることは硬い土で植物を育てようとするに似ています。そういうとき、どんな手順を取りますか。まず土を耕して柔らかくします。そうやってふかふかになった土に種をまきます。それから、成長に欠かせない水を注ぎます。長老もアドバイスする前に、土を耕すかのように相手の心を柔らかくします。そのために良いタイミングを見て話し、まずは相手を心から気に掛けていることを伝えましょう。長老が日頃からみんなに優しくて思いやりのある接し方をしていれば、アドバイスは受け入れやすくなるはずです。

12 本人と話している時、長老は①誰もが時には間違いをしてアドバイスを必要とするということを話して、いわば土を柔らかくします。（[ロマ 3:23](#) 全ての人は罪人になったので、神の栄光に達することができません。）②敬意を込めて穏やかな口調で、相手がどのように道を踏み外してしまったかを聖書からはっきりと伝えます。本人が自分のした間違に気付いたなら、長老はこれからどうしたらいいかを分かりやすく説明します。そのようにして、相手の心に種をまきます。③それから相手の頑張っているところを心から褒め、一緒に祈ることで、水を注ぎます。（[ヤコ 5:15](#) 信仰の祈りは病気の人(if*疲れている人)を良くし、エホバ(*)がその人を起き上がらせてくださいます。また、その人が罪を犯したのであれば、許されます。）



求められていないアドバイスをするとき、愛情を込めて、相手の心に届くように話す。（10-12節を参照。）

13. 相手がアドバイスをしっかり理解しているか、どのように確かめられますか。

13 アドバイスしても、こちらが言いたかったことが相手にきちんと伝わっていないこともあります。そうならないために何ができますか。上手に質問して、アドバイスの内容をしっかり理解しているかを確かめます。そうやって相手がアドバイスを心に落とし込むようにします。（[伝 12:11](#) 賢い人の言葉は、牛追い棒のようだ。集められた格言は、しっかりと打ち込まれたくぎのようだ。それらの言葉はひとりの牧者が下さったものである。）

良いタイミングで、受け入れやすい仕方で

14. 腹立ち紛れにアドバイスするのが良くなるのはどうしてですか。

14 私たちは完璧ではないので、人を怒らせるようなことを言ったりしたりしてしまうことがあります。 (コロ 3:13 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ(*)が寛大に許してくださいましたのですから、同じようにしなければなりません。) 自分が人を怒らせることもあれば、ほかの人がしたことにむつとすることもあります。聖書も、そういうことがあると言っています。 (エフェ 4:26 腹が立っても、罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう。) でも腹立ち紛れにアドバイスするのは良くありません。 「怒りの気持ちからは、神が求める正しさは生まれ」ないからです。 (ヤコ 1:20 怒りの気持ちからは、神が求める正しさは生まれません。) 怒りに任せてアドバイスすると、良い結果になるどころか、相手は心を閉ざしてしまうでしょう。こちらの考え方や気持ちを相手に伝えるときは、冷静になるまで待ってから話すことが大切です。そうすればスムーズに話し合えます。ヨブに良いアドバイスをしたエリフの手本に注目しましょう。

15. エリフからどんなことを学べますか。 (挿絵も参照。)

15 ヨブが友人たちに対して自己弁護するのを、エリフは何日も聞いていました。エリフはヨブに同情しましたが、同時に怒りも感じました。ヨブが自分の正しさを証明しようとするあまり、エホバについて間違ったことを言っていたからです。それでもエリフは話すべきタイミングを待ち、優しく敬意を込めてヨブに助言しました。 (ヨブ 32:2 さて、ラムの氏族のブズの子孫、バラクエルの子エリフは怒りに燃えた。なぜなら、ヨブが神の正しさよりも自分の正しさを証明しようとしたからだった; 33:1-7 ヨブ、私の言葉を聞いてください。私が語る全てを聞いてください。さあ、注意を払ってください！私は口を開き(d*私の舌と上顎が)，話します。3自分の心の正直さを言葉で明らかにし、自分が知っている事を唇で誠実に伝えます。4私は神の聖なる力によつて造られ、全能者の息によって命を与えられました。5私に答えられるならそうしてください。言い分を私に提示し、意見を述べてください。6見てください、真の神の前で私はあなたと同じです。私も粘土で形作られました。7ですから、あなたが私を恐れておびえることはありません。私のせいで圧倒されることもありません。) このエリフの姿勢から学べることがあります。良いタイミングで、そして愛と敬意のこもった受け入れやすい仕方でアドバイスすることの大切さです。 (伝 3:1 何事にも時がある。この地上の全ての活動には時がある, 7裂くのに時があり、縫うのに時がある。黙っているのに時があり、話すのに時がある。)



エリフは怒りを感じたが、冷静になってから優しく敬意を込めてアドバイスした。 (15節を参照。)

これからもアドバイスを求め、受け入れる

16. 詩編 32 編 8 節からどんなことが学べますか。

16 この記事の主題聖句にある通り、エホバはこう言っています。「私は……あなたに目を留めて助言を与える」。（詩編 32:8 私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。を読む。）そう約束しているエホバは、これからもアドバイスを与えるだけでなく、アドバイスの通りにできるよう助けてくれます。私たちも誰かにアドバイスするとき、そういうエホバに倣いたいと思います。その人がアドバイスの通りにできるよう、いつも温かく見守り、できることを何でもして助けてあげましょう。

17. 長老たちは聖書から役立つアドバイスを与えるとき、どんな存在になれますか。（イザヤ 32:1, 2）

17 アドバイスを与えることも受けることも、私たちにとって大切です。今は終わりの時代なので特にそうです。（テモニ 3:1このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります。）聖書から役立つアドバイスを与える長老たちは「水のない土地に流れる水」のような存在です。（イザヤ 32:1, 21人の王が正義のために統治する。高官たちが公正のために治める。2彼らはおのれの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った土地にある大岩の陰のようになる。を読む。）聞き心地のいいことばかり言うのではなく、必要な時は耳の痛いアドバイスをしてくれる友達はありがたい存在です。そういう友達のアドバイスはまさに「銀の器の中の金のリンゴ」のようです。（格 25:11適切な時に話される言葉は、銀の器(*彫り物)の中の金のリンゴのようだ。）これからも、良いアドバイスを与え、受け入れることができるクリスチャンとして成長していきましょう。

どんなことを覚えておくとよいですか

1. アドバイスを求められたとき

- ・S04-06 アドバイスを求められるとうれしくなってすぐに何か言いたくなってしまって、「自分は本当にこの分野でアドバイスできるだろうか」と考え、アドバイスができると感じても、まず時間を取って、調べ、祈り、じっくり考える。
- ・S08 自分が良くないアドバイスをしたせいで相手がつらい目に遭うなら、アドバイスした側にも責任があると考え、よく考えてから慎重にアドバイスすることは大切。

2. 求められていなくてもアドバイスするとき

- ・S09 長老たちが「道を踏み外した」兄弟姉妹にアドバイスしなければいけない場合でも、自分の良心に従って決めてよいこともあるので、長老はその人が本当に道を踏み外しているかどうかを確かめる必要がある。
- ・S10 道を踏み外した人は自分ではそのことに気付いていない場合があり、受け入れやすい助言をするのは決して簡単なことではない。
- ・S12 長老は、①誰もが時には間違いをしてアドバイスを必要とするということを話して、いわば土を柔らかくする。②敬意を込めて穏やかな口調で、相手がどのように道を踏み外してしまっ

たかを聖書からはっきりと伝え、これからどうしたらいいかを分かりやすく説明して、相手の心に種をまく。③それから相手の頑張っているところを心から褒め、一緒に祈り、水を注ぐ。

・S13 アドバイスが相手にきちんと伝わっていないということもあり、上手に質問して、アドバイスの内容をしっかりと理解しているか確かめ、相手がアドバイスを心に落とし込めるように助ける

3. 相手に腹を立てているとき

・S14 怒りに任せてアドバイスすると、良い結果になるどころか、相手は心を閉ざしてしまうことがあります、自分が冷静になるまで待ってからこちらの考え方や気持ちを相手に伝えることが大切。

・S15 話すべきタイミングを待ち、優しく敬意を込めてヨブに助言したエリフに倣う。

109 番の歌 心から熱烈に愛しましょう

△ (詩 32:8) 「私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。

△ (ヨハ 13:35) あなたたちの間に愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります」。

△ (格 27:9) 油と香は心を喜ばせる。誠実な助言を与えてくれる友もそうである。

△ (ペテー 5:2, 3) 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し*, 不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3 神の財産である*人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう。

または、「進んで群れを注意深く見守り」。

または、「神から委ねられた」。

△ (格 27:17) 鉄が鉄を研ぐように、人は友を研ぐ。

△ (イザ 9:6) 私たちのために子が生まれた。私たちに男子が与えられた。彼は肩に統治の責任を負い、素晴らしい助言者、力強い神、永遠の父、平和の統治者と*呼ばれる。

または、「という名で」。